

資料 3

令和2年9月9日
第2回神戸市総合教育会議

(2) 「いじめ問題再調査委員会からの提言と改善状況」 に対する検証評価



総合教育会議検証委員の検証・評価活動

(検証・評価の目的)

- 神戸市いじめ問題再調査委員会調査報告書において示された提言（14項目）に対する教育委員会の履行状況を担保するため、総合教育会議から3名の検証委員を委嘱
- 教育委員会における「いじめ防止対策及び組織風土改革に関する取組と改善状況」について検証・評価し、総合教育会議で報告

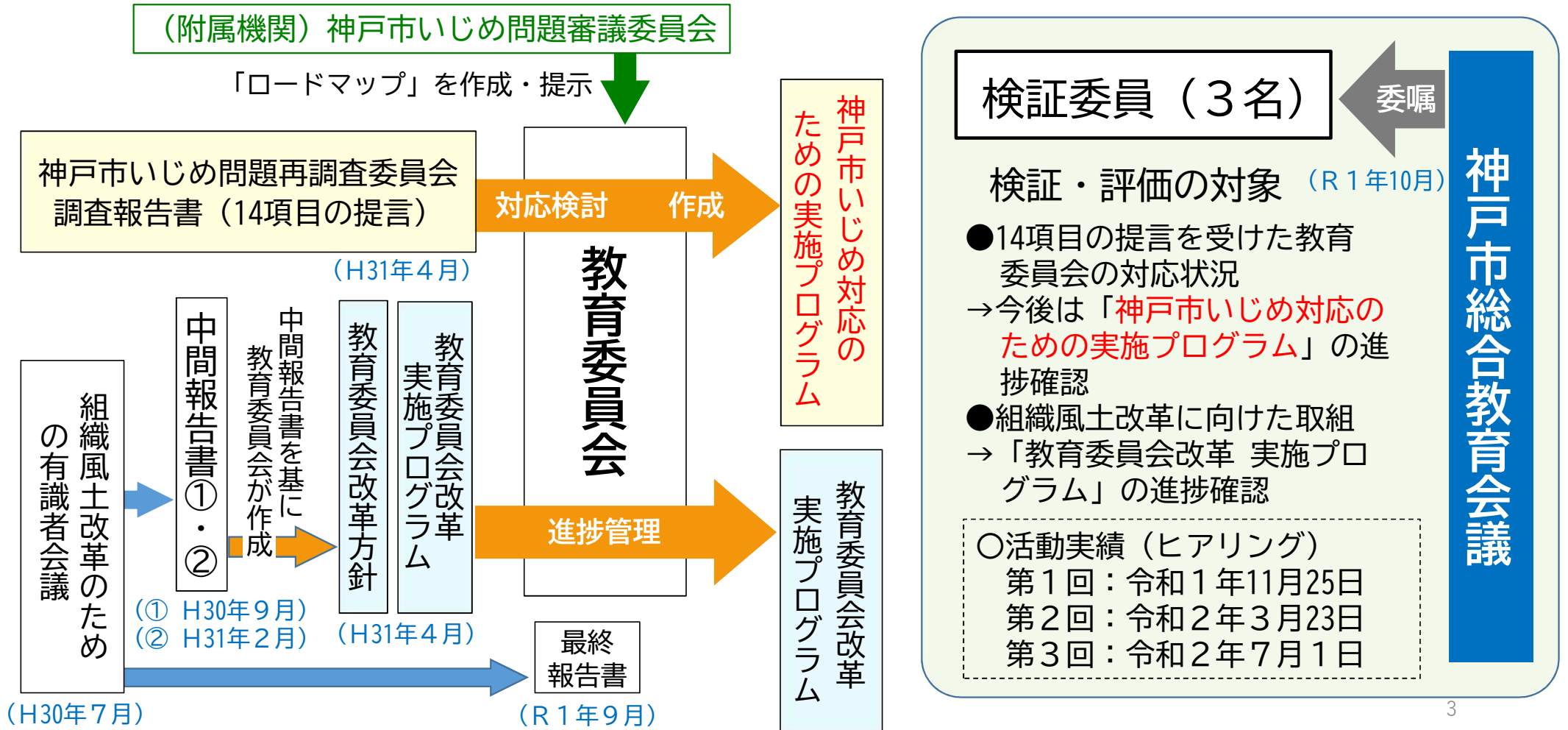
(検証委員：3名) *委員名：五十音順

春日井 敏之 立命館大学大学院 教職研究科 教授

三木 憲明 弁護士（いぶき法律事務所）

渡邊 隆信 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授

総合教育会議検証委員の検証・評価活動



神戸市いじめ対応のための実施プログラムの策定



神戸市いじめ対応のための実施プログラムの策定の経緯

平成28年10月 垂水区中学生自死事案の発生

平成31年4月 神戸市いじめ問題再調査委員会による調査報告

いじめの再発防止策の提言

教育委員会附属機関

神戸市いじめ問題審議委員会による検証評価

教育委員会におけるいじめ対策の取組状況

今後の取組に向けた提案



いじめ問題審議委員会提案の「いじめ問題対策の4つのテーマ」

いじめ対応

「未然防止」「初期対応」「重大事態への対応」の徹底

子供理解

いじめに関する子供理解の促進

学校組織

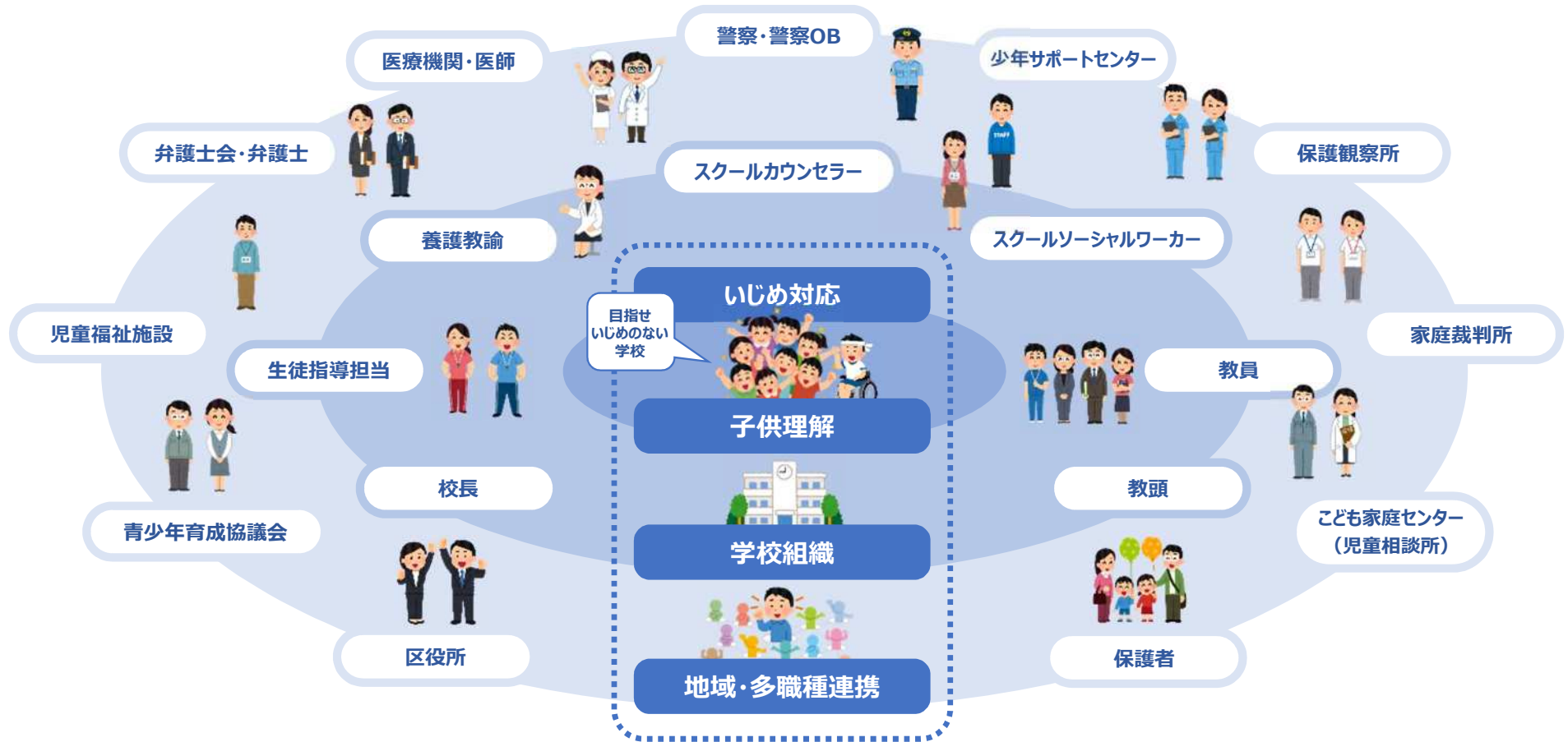
教員一人で抱え込まない、学校組織体制の構築

地域・多職種連携

学校と地域や多職種との連携強化



4つのテーマのイメージ



各分野において幅広く子供たち一人ひとりをサポート



いじめ対応

「未然防止」「初期対応」「重大事態への対応」の徹底

重点目標

短期

令和2～3年度

いじめの実態についてアンケート調査等による把握と基本的な対応方法の定着

中期

令和4～5年度

いじめの実態に適した、より専門的な対応方法の定着

長期

令和6年度～

各学校のいじめ実態に応じた、いじめ対応のプログラムの確立

【重点プログラム①】 学校現場の意見を取り入れた、神戸市統一のいじめアンケートの実施と適切な対応の実践

【重点プログラム②】 いじめ問題への対応における児童生徒への積極的な関り方、実践的な対応を学ぶ研修を実施

【実施プログラム①】 学校におけるいじめの重大事案の検証から、リスクマネジメントを再構築

【実施プログラム②】 いじめの加害生徒への対応方法を含めた、いじめ対応の研修の実施

高

優先度

子供理解

いじめに関する子供理解の促進

重点目標

短期

令和2～3年度

生徒指導を担当する教員が、いじめに関する子供理解ができる

中期

令和4～5年度

生徒指導を担当する教員が、いじめに関する子供理解に基づいたリスクマネジメントができる

長期

令和6年度～

教員一人ひとりが、いじめに関する子供理解に基づいたリスクマネジメントができる

【重点プログラム①】 学校内での児童生徒間の序列（スクールカースト）を理解するための研修を実施

【重点プログラム②】 ト라우マインフォームドケアに関する研修の実施

【実施プログラム①】 学校環境適応感尺度「アセス」の実施

【実施プログラム②】 子供が「いのちの大切さ」を学ぶ教育とメンタルヘルスの授業を実施

高

優先度

学校組織

教員一人で抱え込まない、学校組織体制の構築

重点目標

短期

令和2～3年度

管理職や同僚の援助が求めやすい、風通しの良い職場環境づくり

中期

令和4～5年度

生徒指導担当教員の拡充を含めた、効果的な生徒指導体制の構築

長期

令和6年度～

学校がチームとして成果を上げるための、マネジメント強化と組織文化の確立

【重点プログラム①】 各区内の小学校の生徒指導体制の整備

【重点プログラム②】 管理職・主幹教諭へのマネジメント論・リーダーシップ論・メンタルヘルス論などの研修の充実

【実施プログラム①】 スクールカウンセラーによる「スクールカウンセラーの活用方法」についての研修を実施

【実施プログラム②】 教職員による事実確認手法の共通理解を推進するための、生徒指導のマニュアルの作成

高

優先度

地域・多職種連携

学校と地域や多職種との連携強化

重点目標

短期

令和2～3年度

生徒指導を担当する教員が、専門職等の役割と活用方法について理解する

中期

令和4～5年度

学校全体が専門職等の役割と活用方法について理解する

長期

令和6年度～

学校だけではなく、保護者を含む地域や他の専門家による連携体制の構築

【重点プログラム①】 「いじめ問題対策連絡協議会」の体制見直しと、構成団体間の連携強化

【重点プログラム②】 専門職と学校をつなぐ役割を担う、教員育成のための研修を実施

【実施プログラム①】 「子供の最善の利益」のために弁護士が関われる仕組みの構築

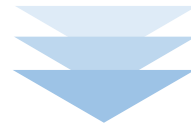
【実施プログラム②】 スクールカウンセラーの学校における活用実態の調査と改善、活用事例の周知の実施

高

優先度

今後について

- 本プログラムに基づき、より一層のいじめ対策を推進
- いじめ問題審議委員会における本プログラムの点検評価



神戸の子供たち一人ひとりをいじめから救い、10年後の子供たちの輝く姿やそれを支える学校や地域の未来像の実現を図る。



教育委員会改革 実施プログラムにおける主な取組



教育委員会改革 実施プログラムにおける主な取組

1 ガバナンスの強化及び学校園に対する支援の充実

- 教育監理役の新設
- 監理室の設置、地区統括官の配置
- 学校法務専門官、学校支援専門官の配置 等

2 学校園の組織力の強化及び教職員の資質向上

- 教職員の人事異動制度や研修制度の再構築
- 教職員の管理職選考や人事評価制度の見直し 等



教育委員会改革 実施プログラムにおける主な取組

3 いじめ等の未然防止や適切な対応

- ・ 「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定
- ・ いじめ防止に関する研修の充実
- ・ スクールカウンセラーの増員など相談・支援体制の充実 等

4 教職員による不祥事の防止

- ・ 「ハラスメント対策基本方針」の策定
- ・ コンプライアンス・ハラスメント対策の研修の充実
- ・ 内部通報制度・相談窓口の周知 等

